



駐車場誘導システム始動

県下で初めての駐車誘導システムの竣工式が、5月2日ニューメディアプラザ山口で行われました。佐内市長ら50人が出席、市長と玉造県警本部長が、システム起動スイッチを押し、稼動を始めました。駐車誘導標示板は、縦2.5m、横3m、高さ9mの鉄柱に立てられ、市中心部の略図に駐車場、道路が表示され、満車、空車の状態が、赤色、黄緑色が電光表示されます。このシステムにより、市内の交通渋滞も、解消されるものと期待されます。

市民交通災害共済 受付中

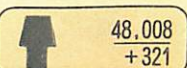
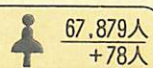
毎月15日は、お年寄りの交通安全日

思いやり みんなですすめる 交通安全

交通事故状況 <4月>

- 発生件数 60 (累計226/前年比+26)
- 死亡者 1 (累計 3/前年比± 0)
- 負傷者 71 (累計253/前年比+17)

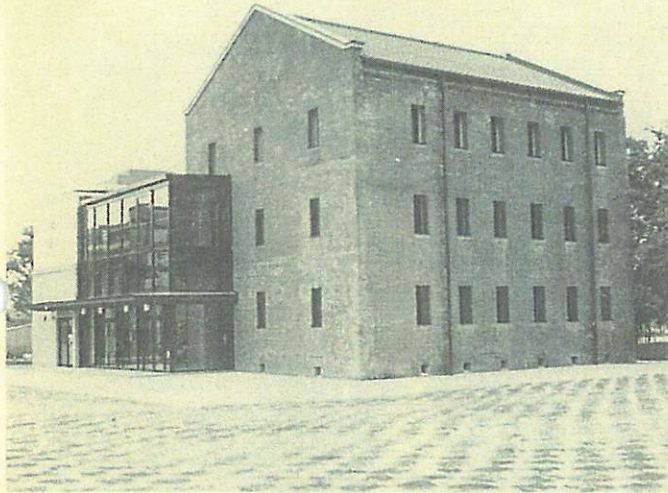
再生紙(古紙混入率80%)利用の市報です



(上段は、平成4年5月1日現在、下段は今年1月1日との比較)

創造の場 観賞の場 交流の場 芸術文化

クリエイティブ・スペース赤れんが 5月25日オープン



大正時代の近代建築物「赤れんが」をそのまま残したクリエイティブ・スペース赤れんが

平成2年に市長の諮問機関である「彩りのあるまちづくり協議会」（民間団体の代表者・有識者18人で構成）が「ふるさと創生1億円」事業について、旧県立図書館書を文化施設として整備するよう答申しました。

クリエイティブ・スペース赤れんがは、大正7年に県立山口図書館の書庫として建築され、このたび市によって整備したものです。赤れんが造3階建の珍しい建物で、書庫として、また、大正12年に県立図書館の移転によってその機能は失ったものの、県教育会の施設として、多くの人に親しまれてきました。

昭和58年に、県教育会の移転とともに、取り崩すことになっていきましたが、赤れんがは、歴史を偲ばせる景観を醸し出す建造物で、赤れんがとその周辺を文化の場として保存、再生しようという声もあり、廃屋の形で残されていま

春の叙勲、褒章 市内から9人が受章

平成4年春の叙勲に市内から8人の方が、また、春の褒章に1人の方が受章の荣誉に輝かれました。

受章された方は次のとおりです。敬称略

（内は年齢・住所・功労概要・主要経歴です。）

春の叙勲

△勲四等瑞宝章▽
山崎達雄（71・嘉川・教内部を2階建としています。）

こうしたなか、市では「彩りのあるまちづくり協議会」の答申を受け、赤れんがの整備にとりかかり、5月25日にオープンします。

2つの多目的ホールをもつれんが棟

改装なったクリエイティブ・スペース赤れんがは、約4千14平方メートルの敷地に、れんが棟、通路棟、管理棟の延床面積約5百68平方メートルと外庭からなっています。

れんが棟は書庫を改修したもので、れんがが築後相当年数経っており、屋根を瓦でふくために、内側を鉄骨で補強し、その上に屋根瓦を乗せ、

衛生功労・現山口県食肉環境衛生同業組合理事長）
△勲六等瑞宝章▽
刀禰榮司（61・大内・防衛功労・元三等陸尉）
西山 光（61・大内・防衛功労・元三等陸尉）
△勲七等瑞宝章▽
河村三郎（68・平川・矯正業務功労・元山口刑務所看守部長）

春の褒章

△黄綬褒章▽
高石敏男（70・大内・水産功労・榎野川漁協組合長）

内部を2階建としています。

1階は、可動式展示パネルや展示スポットライトを備え、調光にも気を配った専門的な展示会が可能な多目的ホールです。

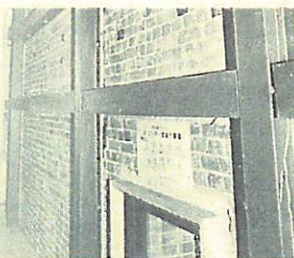
2階は、音響に配慮し、ミニコンサートや可動式簡易舞台を備え、小演劇の発表ができる80人収容の多目的ホールです。

外庭は、彫刻などの展示会や野外コンサートが開催できる多目的広場となっています。

市美展優秀作品展とソプラノ リサイタルで開館記念

1市美展受賞者作品展
■期日 5月25日（月）～6月14日（日） 9時～17時

■会場 1階ギャラリー
■出品者 昭和51年以後市長賞、議長賞、大賞、準大賞



れんが壁を内側から補強

各賞受賞者(24名・40点)
2 桑原英子 ソプラノ・リサイタル

■日時 5月25日(月) 19時
■20時30分

■会場 2階ホール
■出演者
ソプラノ 桑原英子
ピアノ 水谷真理子

3 石井志都子・野波健彦・西村順子の一の坂川コンサート
■日時 5月30日(土) 19時
■20時30分

■会場 2階ホール
■出演者
バイオリン
石井志都子・野波健彦
ピアノ 西村順子

4 劇団「演劇街」公演 「橋」
■日時 6月5日(金) 昼15時・夜19時

■会場 2階ホール
5 田辺素子展「メディアウィルス」

■期日 6月18日(木)〜6月25日(木) 9時〜17時

■会場 2階ホール
■主催 田辺環境美術研究所
6 秋山泉油彩展&ギャラリート

■コンサート「絵と音楽を語る」
■日時 6月19日(金)〜6月24日(水) 9時〜17時

■ギャラリートは6月19日(金) 19時〜20時30分
■会場 1階ギャラリート

■出演者 秋山泉、山崎凱千、山崎喜久子、縄田雅子、柴崎由美

7 風景の作法シンポジウム
は夜明けを信じたー
。基調講演 I 殿敷侃が目指したもの
。基調講演 II 風景の作法と風景論

■内容 討論、朗読、展示ほか
■会場 1階ギャラリート
2・3・4 は住復ハガキに
行事名、住所、氏名、電話番号

■日時 9時〜22時
■休館日 (1)毎週月曜日。た

先人の眠る丘

史跡公園「朝田墳墓群」が開園

朝田墳墓群(国道9号バイパス朝田トンネル上)は、国道9号バイパス建設工事に先立って昭和50年から昭和57年度にわたって発掘調査が行われました。

発掘調査の結果、今からおよそ千四百年から二千百年前の弥生時代から古墳時代にかけての墓が集中してたくさん見つかり、県内でも大変貴重な遺跡であることがわかりました。

発掘調査が進むなかで、この遺跡の保存問題が起こり、地元の皆さんの保存への情熱も高く、遺跡を残すことに決まり、バイパスは、トンネル化されました。

また、この遺跡が墓制のあり方や変遷を知ることができ、貴重な遺跡であることから

号を記入して山口市河原町5-12クリエイティブ・スペース赤れんがに申し込んでください。申し込み多数の時は抽選。

1・5・6 は入場自由。
7 は主催者で対応

■施設の利用
開館時間 9時〜22時
休館日 (1)毎週月曜日。た

先人の眠る丘

史跡公園「朝田墳墓群」が開園

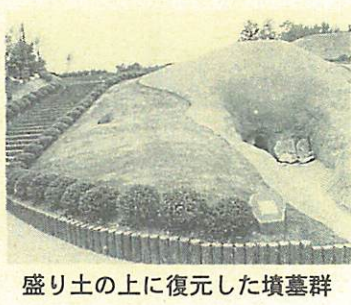
昭和57年4月に国の史跡「朝田墳墓群」に指定されました。指定後は、土地を買い上げ、昭和62年から保存・復元のための工事にとりかかり、発掘調査後に遺跡全体に盛り土をし、その上に本物と同じ墓を作って展示しているものです。

市内では初めての史跡公園で3月に完成し、5月19日10時から開園式が行われます。朝田墳墓群から発掘された墓の種類には
箱式石棺墓
地面に穴を掘って、板状の石を立てて囲み、板状の石でふたをして土で盛ったもの
壺棺墓
専用のかめ棺とちがい、生活に使っていた土器を棺に使った墓
周溝墓

活に使っていた土器を棺に使った墓
周溝墓

だしその日が祝日に当たると日は除きます。
(2)祝日の翌日。ただしその日が土・日曜日は除きます。
(3)1月1日から1月5日までと12月29日から12月31日まで。

■利用手続
所定の申請書によって直接クリエイティブ・スペース赤れんがへ申請してください。



盛り土の上に復元した墳墓群

遺体の周りの土を掘って、その土を盛り上げ、まわりを溝で囲んだ墓
土壘墓
穴を掘って遺体を埋め土を覆った墓
横穴墓
山の斜面を掘り込み、その中に遺体を入れ、掘った土を上盛りに盛り、家族と一緒に葬られている墓
などがあります。

特色あるまちづくりを目ざした

雪舟サミット

5月28~29日 山口で開催

の3市3町となります。

総社市・芳井町(岡山県) 益田市(島根県) 大野町(大分県) 川崎町(福岡県)

白杵華臣 氏も講演
池田満寿夫

初日の28日には、県教育会館で13時からの開会行事に続き、白杵華臣毛利博物館長の「雪舟と山口」や池田満寿夫氏による「時代を創出した芸術家」の講演があります。

また、山口の文化を紹介するために、山口驚流狂言保存会による驚流狂言の上演や加藤舞踊学院の皆さんによる「雪舟―山口の残像―」が公演されます。

会場には、参加市・町民から募集した「雪舟ゆかりの地フォトコンテスト」の入賞作品37点が展示され、合わせて優秀作品の表彰も行われます。

開会行事から記念講演まで、市民の方も自由に参加できます。
2日目29日には、サミット会議が開かれ、地域の特性を活用した、まちづくりについて会議が進められ、サミット宣言が行われる予定です。

参加市・町は山口市を含めつき

高原の地の利を生かした彩り豊かな村づくり

仁保・松柄地区の 土地改良総合整備事業竣工

仁保・松柄地区で昭和58年から始まった「ほ場整備事業」が、この度竣工し、4月23日に記念碑の除幕式が行われました。この松柄地区の土地改良総合整備事業の竣工により、市内のほ場整備は、県営、団体営ほ場整備事業など、全体で9百91㌥で、昭和52年に作った全体計画のうち41・1%が完了しました。

農地の多角的 利用が可能に

山口市の北東部に位置する、仁保・松柄地区(11世帯・45人)は、徳地町に隣接する標高2百40〜2百70㌥の山間地域で、9戸の農家が稲作やホウレン草を中心に農業を営んでいます。しかし、土地が狭く、ほ場も不整形なため、営農活動に大きな支障が出ていました。この対策として、昭和58年度に「ほ場整備事業」に着手。農地の区画や道路、水路など



年間を通してホウレン草を栽培
松柄地区では、9戸の農家が協力し合っ
て、生で食べられるサニーホウレン草を作
っています。ビニールハウスで栽培されるこ
のホウレン草は、年間6〜7作。水田をど
う効果的に利用するかということで、昭和
57年頃から作り始めました。

を整備し、水田の多角的利用
による生産性の増大を図ると
ともに、農作業の安全と効率
を高めることで、農業経営の
安定を目指しました。事業費
は、ほ場整備が1億7千40
万円で、13・8%を造成、18
・2%を換地しました。河川改
修費は砂防災害関連事業とし
て、市から3千6百84万3千
円。また市道松柄線6百86㌥
を、4千60万円でかけて改良工
事を行いました。事業の完了
により、高原の地の利を生
かした農地の多角的利用が可
能になり、「彩り豊かな村づ
くり」に一層弾みがつくこと
でしょう。



高原の地 仁保・松柄地区

ほ場整備事業は 農業の重要課題

山口市のほ場整備事業の実
施状況は、市内の農用地(田
3千29㌥のうち、77・1%
の2千4百11・5㌥が、現在、
ほ場整備全体の計画面積となっ
ています。このうち、41・1
%の9百91㌥が、平成3年度
末までに完了し、残る千4百
20・5㌥についても今後、順
次整備していくことになって
います。

「土を動かす村づくり」から 「彩り豊かな村づくり」へ

山口市の面積の5分の1を
占める仁保地区は、山に囲ま
れた農林業の盛んな地区です。
しかし、若者の流出は同地区
においても例外ではなく、特
に農村部では、後継者不足に
よる過疎化が心配されていま
した。そのため、昭和50年に
仁保地区構造改善推進協議会
が発足し、「土を動かす村づ
くり」の考え方のもとに、仁
保地区全体のほ場整備を定

農業をとりまく環境は極め
て厳しく、米の輸入自由化問
題、農業後継者問題など農業
事情は、非常に困難な局面に
立たされています。そのよう
な中で、ほ場整備事業は、農
業政策の再重点施策として全
国的に進められています。こ
の事業の目的は、農地の区画
整備を中心に、用排水路や農
道の整備、客土等による土層
改良、換地による分散した農
地の集団化等を一体的に実施
し、農業の効率化、生産性の
向上、環境改善による近代的
な農村の建設などの推進です。
難しい事業ですが、これから
の豊かな村づくりには、受益
者や関係者による綿密な計画
が必要です。

して、良い環境を子孫に残す
ために動き始めました。また、
山間の不便な集落から良くし
ていこうという考え方は、早
い時期に上郷や一貫野、松柄
等へ通じる道を舗装道にしま
した。いま仁保では、祖先が
残した土地と、自らが築き上
げた環境の下で「彩り豊かな
村づくり」を目指し、犬鳴山
の整備など特色のある事業に
取り組んでいます。

数ある苦勞も 喜びに



仁保土地改良区常務理事
山岡 一衛さん

昭和58年から始まった
松柄地区のほ場整備事業
が竣工し、苦勞も多かつ
たが今はその苦勞も喜び
に打ち消されたような気
持ちです。これも昭和50
年に発足した百人委員会
の皆さんや地域の人たち
が非常に良く協力して下
さったおかげです。

ほ場整備事業は、先祖
代々受け継いできた農地
を流動化させるため、皆
がやる気にならないとで
きません。また村づくり
百年の大計のためにも欠
かせないものです。現在
松柄地区では高原の地の
利を生かして、生で食べ
られるホウレン草を年間
通して出荷するなど農地
を多角的に利用していま
す。また9戸の農家には
それぞれ後継者もいて、
将来の展望も非常に明る
いものになりました。

平成3年 山口市交通白書を発表

本格的な車社会を迎え、自動車は、産業や経済の活性化に大きく貢献しています。その利便性は、現代社会にとって欠かせないものになっていきます。しかし、その反面、多くの人が交通事故で亡くなり苦しんでおられることも否めない事実でしょう。山口市では、このほど昨年の人身事故などをまとめた交通白書を発表しました。

2人に1人が 自動車を保有

山口市内の自動車、原付等の保有台数は、この10年間で約70%の増加率となつています。

原付等の台数は、昭和62年の1万7千余台をピークとしてわずかながら減少してきています。

自動車の保有台数は、今では7万1千余台と増え続け、この10年間に3人に1台の割合

合から2人に1台強の割合になつています。

また、免許保有者数は、6万7千7百余人(平成3年12月末現在)で、山口市の人口の割合でいうと2人に1人が免許を持っていることになりました。なかでも、20歳代の男性では、ほとんどの人が免許証を持ち、車を運転できるといえます。

人身事故は 昨年より減少

山口市における交通事故状況は、下記グラフのとおりですが、負傷者・人身事故件数とも昭和59年は、5百77人、4百77件と最低で、以後、平成2年までは増加していましたが平成3年は、両者とも減少しており、良い結果となつています。

直路・交差点の 事故が多発

道路状況別に見ると、直路での事故が最も多く全体の半数近く44%を占めており、次いで交差点での事故が38%と多く、両者合わせて事故件数

のうち83%を占めています。これは、スピードの出しすぎ、不確認、不注意等の漫然運転による気のゆるみが事故につながっていると考えられます。直路・交差点では、特に気をつけたいものです。

追突事故 が多発

事故類型別の人身事故発生状況を見ると、車両相互の事故が最も多く、65.5%で、なかでも追突事故が42.8%を占めています。次いで自動車対車の事故が16.2%と多く、自転車の飛び出しが過半数を占めています。

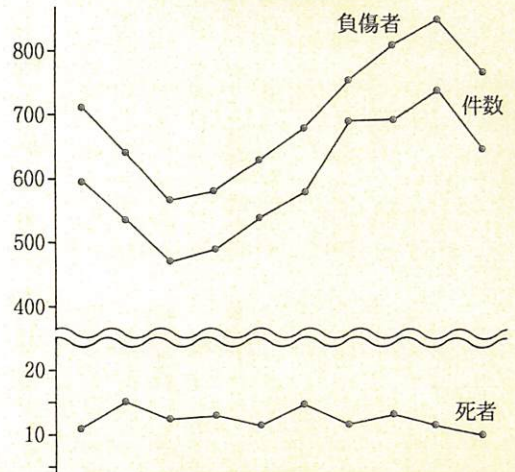
人対車両では、過半数が横断歩道を含めた道路横断中の事故となつています。

事故件数は 全体的に増加

物損事故の発生件数は、この10年間では、昭和57年の2千90件が最低で、年毎に増加し、平成3年では、3千6百件となつており、昭和57年に比べ58%増えていることになりました。

人身事故については、平成3年は、前年に比べ減少しているものの事故全体については増えており、けつして樂觀できる状況ではありません。事故にはくれぐれも気を付けたいものです。

山口市における交通事故の推移



平成4年度交通安全功労者に 9人と3団体が受賞

9人と3団体が受賞

平成4年度山口市交通安全対策協議会総会が、4月27日開かれました。山口・小郡警察署から交通事故の現況についての説明があり、平成4年度交通安全推進計画についての審議をしました。また、平成4年度の交通安全功労者に次の9人3団体が表彰されました。



- 個人▽平田十郎(78・湯田)
- ▽溝部日出人(59・仁保)
- ▽西村昇(61・小鯖)
- ▽谷口幡平(46・大内)
- ▽田中光雄(64・大歳)
- ▽藤井讓(67・大歳)
- ▽田中三郎(68・陶)
- ▽宮本定(72・鑄銭司)
- ▽波田タカコ(51・鑄銭司)
- 団体▽山口市立大内小学校
- ▽山口市立鑄銭司小学校
- ▽山口市立二島幼稚園

水道まつり

6月1日〜7日までの水道週間関連行事の一環として水道まつりを開催します。

日時 5月31日(日)午前10時〜午後3時(小雨決行)

場所 山口市水道局(宮島水源池)

内容・スケッチ大会
△対象者▽園児(4歳以上)、小学生△用具▽画用紙は水道局で用意しま

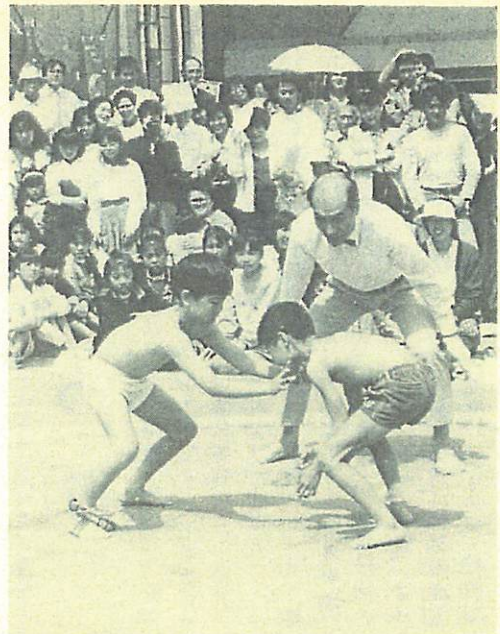
す。昼食・用具(クレヨン・絵具)どちらでもよい)は各自持参△申し込み▽当日受け付けます。
・水道・水質コーナー、食べ物コーナー(焼きそば、綿菓子等)、水道〇×クイズ、展示と即売、アユの無料配布(榎野川漁協提供、抽せん)、蛇口漏水のパッキン無料取り替え実施(6月1日〜7日)



△佐内市長もスターターを

4月26日、市内9地区で体育祭が開かれました。佐内市長も激励に駆けつけ、あいさつやスターターを勤めました。

汗ばむような日和のもと小(中)学校のグラウンドでは、ほほえましいプレーや妙技に暖かい拍手や声援が送られ、地区の皆さんのふれあいの輪が広がりました。



△かわいらしい取り組みに大声援

相撲を通して子どもたちの健全な精神と身体づくりを図るため4月26日、金竜館跡地で、わんぱく相撲山口場所が開かれました。まち中での開催とあって見物客も多く、子どもたちの白熱した取り組みに大きな声援が飛んでいました。



△犬鳴山は夏が楽しみ

4月28日、仁保の犬鳴山の整備が終わり、竣工式が行われました。滝や山へ通じるハイキングコースが整備され、ツツジなどの花木も植樹。清らかな川の流れるレクリエーション基地として魅力いっぱいです。



△福祉のこころを伝えたい

4月29日、市福祉センターで、「福祉の市」が開かれました。三世代交流コーナーや点字講習コーナーなどがあり福祉についての関心を高めました。



▷まつりで、であい、ふれあいを
4月25日、大内公民館で「大内まつり」が開かれました。カラオケ大会、もちまきなどの催し物や家庭での不用品などの即売があまりにぎわいました。

国際交流事業に
補助金制度があります!

市では、国際交流事業を実施する団体または個人に対して、助成を行っております。

- 国際交流事業とは、①青少年の交換派遣事業②市民親善使節派遣事業③その他国際交流事業促進のため必要と認める事業
- 補助金額、①については必要経費の20%、②・③については必要経費の10%
- 申し込み、問い合わせ 市国際交流室(☎22-4111)へ
- 国際交流事業とは ①県滞在外国人に対する支援、県のPR、交流会事業②県民に対する国際交流意識の啓発、国際理解の促進に寄与する事業
- 補助金額 国際交流に関する事業費の50%以内(最高10万円まで)
- 申し込み、問い合わせ (財)県国際交流協会(☎2517353)へ

山口南総合センター受講者募集
「親子ふれあい体力づくり教室」

この教室は、親子で楽しく運動することにより、日常生活でできない親子のふれあいを深めるとともに、運動に対する興味・関心をもたせ、体力づくりをすすめるものです。

- 日時 6月10日～9月16日、毎週水曜日、午後2時30分～4時(全15回)
- 対象 満4歳以上の幼児とその親
- 内容 親子体操ほか
- 募集人員 30組(応募多数の場合は抽選)
- 受講料 1組3千円(保険料、ボール代ほか)
- 申し込み 5月18日～6月2日までに、山口南総合センター(名田島1218-1 ☎32-8333 ☎小郡2-8333)へ
- ※なお、説明会が6月5日(金)午後3時～3時30分にありますので、受講料をご持参ください。

都市計画下水道計画の縦覧

市下水道建設課で、鑄銭司都市下水路計画の縦覧を行います。
 ○期間 5月20日(水)～6月2日(火)まで

第14回陶芸習作展

山口ふれあい館では、陶芸創作会員による萩焼を中心とした約200点の作品の展示会を開催します。
 ○日時 5月21日(木)～24日(日) 午前9時～午後5時(24日は午後2時まで)
 ○場所 山口ふれあい館(宮野上12-22 ☎23-3351)
 ※チャリティー即売コーナーをもうけています。

生涯学習発表会

●作品展示会
 ○日時 5月30日(土)～6月14日(日)(月曜日休館) 午前9時～午後4時30分
 ○場所 県政資料館2階展示室
 ○展示内容 生涯学習作品約400点
 ●実技発表会
 ○日時 5月30日(土) 午前10時～午後3時
 ○場所 県教育会館ホール
 ○演技団体 14団体
 ○演技種目 大極拳、大正琴ほか

アメリカの遺産—絵画の150年

アメリカ独自の美術の芽が出始めた19世紀半ばから世界美術の中心ともなった現代まで150年間の時代を代表する作品約120点が展示されます。独特の現代感覚と社会問題意識を支えられたアメリカ美術の展開がこれほどの規模と内容で開かれる展覧会は初めてといわれています。
 ○期間 5月12日～6月21日
 ○場所 県立美術館
 ○入館料 一般1,000円、高大生700円、小中生400円(20人以上の団体は各200円引き)

心身障害児の療育相談会

○日時 6月11日(木) 午後1時～4時30分
 ○場所 山口環境保健所(葵二丁目)
 ○対象 心身に障害を持つ乳幼児(疑いも含む)とその保護者
 ○相談担当者 小児科、整形外科、精神科の各医師ほか関係者
 ○持参品 母子健康手帳
 ○問い合わせ 市老人障害福祉課(☎22-4111)へ

家内労働旬間

今年は、「手から手へ 渡す信頼 家内労働手帳!」をスローガンに掲げて次の強調事項を呼びかけています。
 ○期間 5月21日～31日
 ○強調事項 1. 家内労働を行なうさいの委託者からの家内労働手帳の交付とその記入 2. 作業による災害の防止 3. 危険有害作業従事者の特殊健康診断受診および労災保険特別加入 4. 「インチャ内職」への注意
 ○問い合わせ先 山口労働基準監督署(☎22-1238)または山口労働基準局賃金課(☎22-1144)へ

高等学校開放講座

●歴史講座
 ○日時 6月13日～11月14日、午後1時30分～4時30分(全11回)
 ○場所 山口高校
 ○対象 一般成人男女(学生を除く)
 ○募集人員 30人(申込多数の場合は抽選)
 ○受講料 無料。ただし、バス代実費、資料代1,000円
 ●自然史講座
 ○日時 6月27日～10月24日、午後1時～4時(全10回)
 ○場所 山口高校
 ○対象 一般成人男女(学生を除く)
 ○募集人員 30人(申込多数の場合は抽選)
 ○受講料 無料。ただし、テキスト、資料代1,000円
 ○申し込み 「歴史講座」は5月30日までに、「自然史講座」は6月5日までに、往復はがきで、往信欄に住所、氏所、年齢、職業、電話番号および「山口高校・講座名」を明記し、返信欄に郵便番号、住所、氏名を明記し、県生涯教育センター(大手町2-18 ☎23-3325)へ

募集コーナー

技能開発センターの講習会

●5月各種講習会 TIG溶接基礎(アルゴン溶接の特徴と使用法)、木工技術(整理箱製作・塗装)等
 ●6月各種講習会 アナログ三種試験準備講習、TIG溶接受験入門、NC旋盤の基礎整備士のためのエレクトロニクス、鎌倉彫、ワープロ入門、ワープロ中級パソコン太郎入門、パソコン太郎中級、POP広告デザイン等(日程、受講料等、詳細については直接お問い合わせください)
 ○申し込み・問い合わせ 山口技能開発センター(☎22-1948)へ

文化バス、佐賀 武雄周辺を訪ねて

○期日 5月31日(日)
 ○行程 市民会館小ホール前・小郡駅前(午前7時30分出発)～佐賀高傳寺～武雄広福寺～(昼食)～多久聖廟～川打家住宅～若宮八幡宮～市民会館小ホール前・小郡駅前(午後7時30分帰着予定)
 ○募集人員 120名(満員になり次第締め切り)
 ○参加費 大人9,800円・子供、身障者9,000円
 ○講師 内田伸・郷土史家
 ○申し込み 5月18日から市交通局(知事登録国内旅行業第44号/葵二丁目 ☎22-2555)へ

がけ地近接等の危険住宅 移転事業の補助制度

毎年、台風や集中豪雨などで、災害が発生してしまいがけ地、特にがけ崩れは、予期しない時に発生し、建物は勿論、命まで奪うことがあります。
 市では、これまでまとめた急傾斜地は、崩壊防止工事を進めています。今更で工事の対象になっていない小規模のがけに近接した危険な住宅を災害から守るために、危険住宅の移転事業を進めています。
 危険ながけ地の近くに住んでおられる方で、補助を受けて安全な場所に住宅を建て替えられる場合、または、建売住宅を購入する場合は、この補助制度を利用されることをおすすめします。
 ●問い合わせ 詳しいことは市建築指導課(☎22-4111)へ

ふるさと植物教室

■日時 6月1日(月)、8日(月)、午後1時30分～3時
 ■場所 1日、山口ふるさと伝承総合センター、8日、山口大神宮から法泉寺シンバク付近
 ■内容 1日、植物についての学習、8日、屋外観察
 ■定員 40人
 ■受講料 200円(資料代)
 ■申し込み 山口ふるさと伝承総合センター(☎28-3333)へ

編集後記

▽昨年の台風で傷んだ木々の枝にも目のさめるような若葉がよみがえり、自然の営みの偉大さに改めて感嘆する思いです。
 ▽C・S赤れんががいよいよオープンします。緑の風に混じって文化の香りが一
 段と濃く漂う後河原一带をあなたも文化散歩してみませんか。
 ▽人と車に親かなまちづくりの一環として「駐車誘導システム」が動き始めました。誘導表示板は慣れれば一目で読みとれ、駐車場入口で長時間待つイライラから開放されます。

健康コーナー

子宮がん集団検診

- 期日・場所 6月1日(月) 平川公民館 9日(火) 大歳公民館 10日(水) 小鯖公民館
- 受付時間 午後1時30分～2時
- 対象 30歳以上の市民
- 料金 600円(70歳以上および生活保護、市民税非課税世帯の人は無料)
- 申し込み 市保健センター(☎21-2666)へ

ツベリクリン検査・BCG予防接種

- 対象 ツベリクリン反応検査を受けていない4歳未満の乳幼児
- 料金 無料

実施場所	ツ反	BCG	受付時間
嘉川公民館	6月2日(火)	6月4日(木)	13:30~14:30
湯田公民館	6月3日(水)	6月5日(金)	13:30~14:30
平川出張所	6月3日(水)	6月5日(金)	13:30~15:30
大歳公民館	6月9日(火)	6月11日(木)	13:00~15:00
山口市保健センター	6月9日(火)	6月11日(木)	13:30~14:45
二島公民館	6月10日(水)	6月12日(金)	13:30~14:30
吉敷公民館	6月10日(水)	6月12日(金)	13:00~14:00
宮野公民館	6月10日(水)	6月12日(金)	13:00~14:20
陶公民館	6月10日(水)	6月12日(金)	13:30~14:00
小鯖公民館	6月10日(水)	6月12日(金)	13:00~14:15
仁保生活改善センター	6月15日(月)	6月17日(水)	13:30~14:30
佐山公民館	6月15日(月)	6月17日(水)	13:00~13:30
山口市保健センター	6月16日(火)	6月18日(木)	13:30~14:45
銚銭司相川医院	6月17日(水)	6月19日(金)	13:30~14:30
名田島公民館	6月22日(月)	6月24日(水)	13:30~14:00

乳幼児特別クリニック

- 日時 6月1日(月) 受付午後1時～2時
- 場所 山口環境保健所
- 対象 発育、発達について心配のある乳幼児
- 申し込み 予約制。必ず電話で、山口環境保健所 保健指導班(☎22-5111)へ

一の坂川 光の乱舞ホタルの観賞を



今年も初夏の風物詩、ホタルの乱舞を楽しむ季節がやってきました。捕らえないで、静かに観賞しましょう。

●**駐車場**(6月3日～7日) 左図の⑤の個所が、期間中(夜間のみ)ホタル観賞者の駐車場として利用できます。県政資料館では公開してライトアップをします。

●**交通規制** 観賞者の安全確保のため、左図のとおり、交通規制が行われます。

○期間 6月3日(水)～7日(日)(雨天の場合は除く)

○時間 午後8時～10時(6日は午後7時から)

○規制区域 左図の□で示す一の坂川沿いの道路(6日は□部分も規制)

○規制対象 原付自転車以上の車両

○内容 車両通行止

健康相談

- 場所・日時 <山口ふるさと伝承総合センター>・毎月第3火曜日、午後1時30分～2時30分 <仁保公民館>・奇数月第4金曜日、午後1時30分～2時30分 <佐山公民館>・毎月第4火曜日、午前10時～11時30分
- 内容 血圧測定、検尿、健康に関する相談等(料金無料)
- ※全区分は、健康づくりカレンダーをご覧ください。

健康教育受講者募集

- 日時 5月19日(火) 午後1時～2時30分
- 場所 佐山公民館
- 内容 目の成人病について
- 講師 正司和夫・眼科医師
- 受講料 無料
- 申し込み 市保健センター(☎21-2666)へ

催し物とお知らせ

防災シンポジウム

- 日時 5月29日(金) 午後1時～4時30分
- 場所 山口市市民会館
- 内容 講演およびシンポジウム
- 入場料 無料

6月の不燃物収集日 [出張所地区]

1日嘉川、3日佐山、4日陶・銚銭司、5日秋穂二島・名田島、9日大内、12日平川、16日小鯖、18日仁保、19日吉敷、23日宮野、26日大歳

電話加入権の公売

- 市税・国保料の滞納により差し押えた電話加入権を公売します。
- 日時 5月29日(金) 午前9時40分～
 - 場所 市役所2階第2会議室
 - 公売する電話加入権(山口局) ☎89-4408、☎24-4502、☎24-5023
 - 持参品 入札予定金55,000円以上、印鑑
 - 問い合わせ 市収納課(☎22-4111)へ。当日公売を中止する場合があります。

市民無料法律・行政相談

- 日時 5月27日(水) 午後1時30分から
- 受付 午後1時～1時30分
- 場所 白石公民館
- 相談内容 日常生活上での法律問題や行政に関する要望・苦情など
- 相談員 弁護士・行政監察事務所職員
- 問い合わせ 市広報課市民相談室(☎22-4111)へ

河川モニター募集

県では、広く河川に関する意見をうかがい、今後の河川行政の参考とさせていただきます。ため「河川モニター」を募集します。

- 募集人数 20人
- 締め切り 6月5日(金)
- 任期 委嘱日(平成5年3月31日)
- 応募方法 はがきに住所、氏名、職業、年齢、性別、電話番号および河川に関する簡単な提言を書いて、県土木建築部河川課水政係(滝町1-1)へ

青年海外協力隊募集説明会

- 日時 5月20日(水) 午後6時30分～8時30分
- 場所 防長青年館第1会議室(神田町1-80)
- 入場料、予約等不要
- 問い合わせ 国際協力事業団九州支部(☎092-4131621)へ

自動車税の納付は6月1日までに!

自動車税は既に送付済の納税通知書により、最寄りの金融機関または県税事務所で6月1日までに納付してください。

問い合わせ 山口市税事務所(☎25-3111)へ